

2026年度 第41回全国保健師教育機関協議会 夏季教員研修会 開催要領

本研修は「日本公衆衛生学会認定専門家研修」および「日本公衆衛生看護学会認定専門家認証制度がイト加算研修・セミナー」と認められているため研修参加者には修了証を発行します。なお、認定には午前と午後の参加が必要です。

研修テーマ：保健師教育評価の機運を醸成、新評価基準で見直し、次なる一手へ

1. 研修のねらい：急激な社会構造の変化の中で、地域住民を取り巻く環境は大きく変化し、それに対応すべく保健師のスキルや社会的役割がますます拡大してきています。今まで以上にその複雑な社会構造や人間関係の中に潜在する needs にも対応できる高度なコンピテンシーを持つ人材の育成が求められ、保健師教育への期待が高まってきています。そこで本研修会では、教育力を高めるために全保教の各委員会が取り組んできたトピックスを紹介し、これからの保健師教育の在り方を検討することを狙いとしています。

3. 主催：一般社団法人全国保健師教育機関協議会

4. 後援：日本公衆衛生看護学会

5. 日時：2026年9月4日（金）9：50～15：00

6. 方法：zoomによるオンライン（後日オンデマンド配信予定）

① 午後の分科会は同じ時間帯に開催です。参加申込時に、いずれか一つをお選びください。

② いずれの研修も、後日、オンデマンド配信（講義部分のみ、グループワークを除く）での受講が可能（期間限定）です。お申込みの方はどなたでも視聴できます。

③ 修了証発行は、開催日当日に参加した方に限ります。

7. 参加資格：保健師教育担当者、保健師教育に関心のある方

8. 研修参加費：

教員 会員校、賛助会員	無料
教員 非会員校、関係者	15,000 円/人
現任保健師	無料
会員校大学院生	無料（現任教員を除く）

9. 申込み期間：2026年6月15日（月）～2026年8月7日（金）期日厳守

10. 申込方法：

Step 1	参加登録 <u>申込はお早めに！</u> ▼	全保教ホームページ：研修会ページより、オンライン事前参加登録システムにアクセスいただき、お名前・メールアドレス・参加希望分科会などを <u>お一人ずつご登録</u> ください。 ① メールアドレスは共用いただけません。
Step 2	費用送金 <u>締切 8/7（金）</u>	非会員校の教員、関係者の方は画面の案内に従って銀行振込またはクレジットカードにより参加費をご入金ください。なお、クレジットカードをご利用の場合は参加登録と合わせて決済となりますので、お手元にクレジットカードをご用意の上ご登録ください。

② 登録後に控えのメールが自動配信されますのでご確認ください。

③ 参加登録が完了された方へは、8月31日（月）までに zoom URL をメールでご連絡します。

11. 問合せ先：全保教研修会等担当

〒456-0005 名古屋市熱田区池内町3-21 株式会社ユピア内

zenhokyo_semi@yupia.net ④ 件名に「夏季教員研修会」をつけてください。

2026 年度 第 41 回全国保健師教育機関協議会 夏季教員研修会 プログラム

* プログラムの内容やスケジュールは変更する場合がございます。

9:50-10:00	<p>開会 全保教 研修委員長・理事 松尾 和枝氏(日本赤十字九州国際看護大学教授)</p> <p>オリエンテーション 全保教 東海・近畿ブロック理事 山路 由美子 氏(鈴鹿医療科学大学 准教授)</p> <p>開会挨拶 全保教 副会長 井口 理氏(日本赤十字看護大学 准教授)</p>
10:00-12:00	<p>テーマ：大学における教育評価の仕組みが大きく変わる時代に、保健師教育(課程)の評価と発展の方向性を探る</p> <p>内 容：大学における教育評価の仕組みが大きく変わる。分野別評価が主流になると想定される中で、保健師教育課程をより良いものにするための教育評価の推進にむけて、各校の教員が、教育評価の動向とその意味、保健師教育課程の質を評価するための評価基準を理解する。また、積極的に評価を行ってより良い教育を展開できるようになることを目指す。</p> <p>【全体研修】</p> <p>教育評価推進委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい教育評価の動向と看護学分野に求められること <55分：録画> 講 師：田中マキ子氏 (山口県立大学学長/第13期中央教育審議会大学分科会委員/公立大学協会会長) 2. 新しい動きに合わせて改変した評価基準(案)の紹介と活用方法について 3. 各自で自校の状況について評価基準を用いて自己評価を試みる(各自ワーク) 4. 保健師教育の評価に関する今後の展開について
	休 憩
13:00~15:00	<p>テーマ：保健師国家試験問題から保健師基礎教育を考える</p> <p>概 要：全保教では、毎年保健師国家試験(以下、国試)問題の内容調査、国試問題の作問研修等を行い、国試の質向上を目指した取り組みを行ってきた。国試を知ることは、日頃の試験の作問技術の向上につながる。また、試験問題の作問は教員の経験を後輩に伝える手段の1つとなり、基礎教育の向上にもつながる。当日は講義と演習を組み合わせ「基礎編」の演習を個別ワーク形式で行う。「応用編」の研修は、別途、国家試験委員会が企画し案内するので申込んで欲しい。</p> <p>座 長：井口理氏(日本赤十字看護大学 准教授/副会長)</p> <p>講 師：播本雅津子氏(名寄市立大学 教授/国家試験委員長)</p>
13:00~15:00	<p>テーマ：「カリキュラムを点検してみよう！— 公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム 2024 改訂版の活用 第2弾」</p> <p>概 要：公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム 2024 改訂版(以下、モデルコアカリ 2024)を用いたカリキュラム点検方法の一例として、教育課程委員会で試行した方法(保健師教育 DP とモデルコアカリ 2024 におけるコンピテンシーとの対応や各科目とのつながりを確認等)を紹介する。また昨年度、中国・四国ブロックにおいて開催された研修(モデルコアカリ 2024 を活用した学修目標の到達を図るための学修環境の整備に関する点検)に関して話題提供する。</p> <p>司 会：松永洋子氏(国際医療福祉大学・教授/教育課程委員)</p> <p>講 師：磯濱亜矢子氏(吉備国際大学・教授/中国、四国ブロック) 草野恵美子氏(大阪医科薬科大学・教授/教育課程委員長)、萩原智代氏(日本赤十字東北看護大学・准教授/教育課程委員)、松原三智子氏(北海道科学大学・教授/教育課程委員)、山田小織氏(佐賀大学・教授/教育課程委員)</p>
13:00~15:00	<p>テーマ：保健師教育における「AIの効果的活用法」を考える①～教育編</p> <p>目 的：保健師教育においてAIを効果的に活用した教育および研究を実践するために、基礎的知識の確立から応用可能な実践力向上まで、具体的事例を通して理解を深めることを目的とする。さらに、AI活用上の倫理的配慮や課題を共有し、持続可能な教育実践の在り方を考える機会とする。実際にAIを操作する演習も取り入れ、初学者から実践者まで、それぞれの習熟度に応じた活用のヒントを得ることも目指している。</p> <p>座 長：田場真由美氏(公立大学法人 名桜大学・教授/研修委員)</p> <p>講 師：松本和史氏(東京医療保健大学 東が丘看護学部・准教授)</p>

方 法：zoom によるオンライン開催…午後の分科会は同時開催のため申込時にいずれか一つをお選びください